

記録的大雨 被災地支援

# 秋田、五城目に計3400万円 県内外RCの寄付贈る



穂積市長に目録を手渡す淡路ガバナー（右）

7月の記録的大雨で被災した地域を支援しようと、県内のロータリークラブ（RC）でつくる国際ロータリー第2540地区（淡路ガバナー）は18日、秋田市に2300万円、五城目町に1100万円をそれぞれ寄付した。

同RCは県内各地の大雨被害を受け、8月に県内外のRCに支援を依頼。約4700万円が集まった。秋田市と五城目町分を除いた1300万円は、両市町以外の大雨被害を受けた13市町村に100万円ずつ寄付する予定。秋田市

役所を訪れた淡路ガバナーは「全国8万3千人強のロータリーアンから集まった浄財。被災された方々のために役立ててほしい」とあいさつした。目録を受け取った穂積市長は「日常生活を取り戻せるように使わせていただき」と述べた。

五城目町役場でも淡路ガバナーが目録を贈呈。渡辺彦兵衛町長は「被害を受けた町民の生活再建は道半ば。復興に向けて浄財を有効に活用したい」と話した。

（三浦正基、菊地隆秀）